大津百町瓦版

大津・町家・まちなか・いろいろ情報

新年号［No．42］
２０２０年　１月

発行　大津の町家を考える会
大津市中央１丁目８－１３
TEL・FAX　077-527-3636
Email：otsu.machiya@gmail.com

大津・近江を描き続け

このちょっと古そうな町家、町並みの絵はご存知の方も多いことと思いますが、大津はもとより近江のいろんな所で、暮しのある風景を長年描き続けておられる福山聖子さんの作品です。大津百町の古いお家の並んでいるところ何処かお分かりですか？山の上に三井寺観音堂が見えます。

この絵に添えられた福山さんの文です

「長等山と町家」

建て変わりゆく家なみの一角に、陰影を帯びた町家がとどまり並んでいた。長い歳月、雨風日差しにさらされ、一枚一枚が微妙に色を変えた瓦の美しいこと。黒々とした格子窓が、老人のような味わい深い建物の表情をつくっている。

　町家の前の、かつて旅人が往来した街道は、生活道路としてランドセルを背負った小学生や、補助車を押して歩くお年寄りなどが通りゆく。軒先に置かれた花に足を止める女性がいる。昆布やさんで買い物を終えた客が出てくると、店の奥から「おおきに、ありがとうございました」と威勢のよい声が表にまで響き渡る。長年変わらず、あたりまえにそこにあった風景が、とても貴重でいとおしく思えてくる。

　通りを飛び交っていたツバメが電線でひと休みしてから、長等山の方へ飛んでいった。山の上の観音堂だけが、まちの変遷を見守り続けている。　二〇一六年六月　福山聖子

　この添えられた文を読むと福山さんの町家への思いが伝わってきます。　［瓦版編集部］

あんらくよしまさ氏 著作

『大津百町我儘百景』

でまちあるき

昨年１１月２３日(土・祝)になかまちにある「まちなか交流館『ゆうゆうかん』」主催による「大津百町わがままツアー」と題したまちあるきが行われました。ご存知の方も居られることと思いますが、安楽さんは「大津の町家を考える会」結成時の発起人メンバーのお一人で、２０１３年２月に『大津百町我儘百景』なる本を出版されました。それはこれまで大津百町内の様々な町家・町中で安楽さんが撮り貯めた写真をメーンにした、面白くユニークな本でした。

この『大津百町我儘百景』を手本にして安楽さんのガイドでのまちあるきに参加された方に感想をお願いしました。

「大津百町わがままツアー」に参加して　　大西 ジェニファー

教会のバザーで「大津百町我儘百景」という本を手に取った。あまりに素敵な本で驚いていると、なんと目の前に座っていらっしゃる方が安楽好正さんご本人で、近々安楽さんの本のツアーが開催されるという。

待ちに待ったツアー当日、お天気にも恵まれ、10 人の参加者が集まった。いざ、大津百町へ！

【いざ 路地を進む 】

かつて遊郭があった柴屋町は当時の花街の風情がそのまま残り、かつてのダンスホールにはネオン管の跡らしき釘跡が見える。

【元ダンスホールの建物】

凝った意匠の手摺りや飾り窓、擬宝珠がのった瀬田の唐橋風手摺り、美しい出格子、虫籠窓。どれも職人の心意気が感じられ、とても気が利いている。家を与えられた鍾馗さん、壁に食いこんだお地蔵さん、サザエさんの三河屋さん。大津百町には面白い風景も多くある。ばったん床机のある町家を通り、「床机で将棋」と誰かがダジャレを言う。ステテコ姿のおじさんがばったん床机に座り将棋をしながら夕涼みをしている様子を想像してみる。昭和の原風景。

【壁に食い込んだ地蔵】

参加者は安楽さんにまち歩きの楽しみ方を教えてもらった。まちの顔を探し、まちを遊ぶ。そしたら不思議と「アート」に見えてくる。ガスメーターを繋ぐ鉄管ですら安楽さんの手にかかればアートに変身する。

【残っている琺瑯看板】

今回のツアーでは現在進行中の都市計画道路拡張工事で失われようとしている建物があることも知った。かつて東海道屈指の宿場町として栄えた大津百町。大津商人の経済力や教養の高さ、粋な心意気が今も残るこの風景を大切にしたいと強く願った。

［ 写真　大西ジェニファー ］

殺風景になった北国海道

今号の表紙は福山聖子さんの風景画を掲載させて戴きました。その場所は北国海道ですが、絵に添えられている福山さんの文面は「建て変わりゆく家なみの一角に、陰影を帯びた町家がとどまり並んでいた。」と始まっています。すでに都市計画道路の拡張で北国海道は大きく変化しつつありました。『瓦版』２０１８年新年号に掲載のため取材で訪れた「梅原家」(左写真)では一階、二階と全て見せて戴きました。

大きな住宅ではありませんが、「粋」という言葉がぴったりの素晴らしい町家でした。でももうこのお宅も昨年取り壊され、殺風景な北国海道になってしまっています。

安楽さんの本に沢山写っている物も無くなるのかも知れないです。

旧「梅原家」正面から↓

↑二階座敷杉玉杢を生かした美しい天井と細かい細工の組子格子欄間。

三井寺の秘仏　あなたは拝見しましたか？

黄不動尊立像＆護法善神立像に　世界最古のビザ(査証)も

昨年１０月１日から約二ヶ月間、三井寺で秘仏の特別公開が行われていました。黄不動尊立像と護法善神立像の二体の秘仏は国宝である金堂の内陣で一般に特別公開されたのです。

二体の秘仏はいずれも重要文化財。黄不動尊立像は８００年前、護法善神立像は９００年前とそれぞれ歴史あるまさに秘仏。全身像を目の当りにして拝観出来る機会は滅多にありませんでした。

「護法善神立像」は三井寺で５月に行なわれる「千団子祭」のご本尊としてまつられ、安産や子どもの守護人として信仰されています。その千団子さんでも拝めますが、上部以外は沢山の団子とお花に飾られていますので全身像の公開は初めてのことです。穏やかなお顔の一木造り唐風の衣裳を纏い美しい彩色がされた女神像です。

「黄不動尊立像」は京都・青蓮院の青不動、高野山の赤不動とともに日本三不動として全国的に有名です。

これは智証大師が比叡山で感得された金色に光輝く不動明王の仏画から(仏画は国宝)そのお姿を一三世紀はじめに彫像された尊像です。力強い黄不動尊立像の前では、坐り込んで真剣に見つめられて居られる若い男女の方が多かったです。

二体とも本当に美しくとても九百～八百年前の尊像とは思えませんでした。

文化財収蔵庫では現存する**世界最古のビザ(査証)・国宝**も公開されました。智証大師が唐に留学中(855年)唐政府が発行した通行許可証「越州都督府過所」と「尚書省司門過所」です。

春は如意輪観音坐像特別公開

今年の春、桜の時期にご即位記念として観音堂の本尊　如意輪観音坐像が特別に公開されます。通常は３３年に一度の御開帳ですが、特別に御開帳されます。千年を経た美しい観音像が拝見できます。

期間　３月１７日～６月３０日まで

気になるお店

『刃物屋　三省堂』

菱屋町に昨年５月１日包丁屋さんができました。

お店の広瀬騎優さんに話を伺いました。本店は東近江市で、金物や電動工具、仮設足場など建築に特化した会社です。もともと播州より刃物の行商が始まりの会社という事もあり、職人の技術をもっと広く伝えたいという想いでお店を開いたとの事です。

この商店街に開店された理由は、谷口工務店の紹介もあり、商店街がもっと賑やかになることに貢献できればという考えからとのことです。売っておられるのは、三徳包丁、出刃包丁、刺身包丁、菜切り包丁、鰻裂き包丁、蕎麦切り包丁、牛刀、餅切り包丁などです。包丁の材料は鉄かステンレスで、刃の鋼と身の軟鉄からできています。他にダマスカス鋼というのがあって、中心の鋼材の両側に色んな鋼材を織り交ぜ叩き、これを層にして挟み込んだもので、美しい刃紋が出るとの事です。

営業日は、木、金、土、及び第２・第４日曜日の一〇時～一八時。商品は高級なものだけでなく、三千円からあるそうです。刃物の砥ぎもやっていて、千円からとの事です。

鰻裂き包丁は、関東、関西、名古屋で形がぜんぜん違い、お話を聞くだけでも楽しくなります。

電話０７７(５７４)７０３５

あなたのほっとけないをサポートします

昨秋オープン『まちづくりスポット大津』

【 正面外観 】

大津びわこ競輪場跡地に 11 月末にオープンしたブランチ大津京。その一角にハッシュタグ大津京／まちづくりスポット大津があります。

まちづくりスポット大津は、ハッシュタグ大津京の運営をはじめ、市民の皆さんのやる気、思いを形に変えていくお手伝いをする組織です。私が代表を務めるしがNPOセンターが大和リース株式会社との協働事業として展開しています。

【 オープニングイベントの様子 】

まちづくり拠点としてのハッシュタグ大津京は、シェアオフィス(貸しオフィス)、シェアスペース（貸し会議室）を備え、市民の利便性に配慮した施設です。利用に当たってのご相談にも応じています。

【 シェアルーム(貸会議室) 】

まちづくりスポット大津は、まちが元気になる仕掛け・演出を考えていきます。まちのほっとけないが気になるみなさん、何かできないかなぁと考えるみなさん、今の活動をもっと元気にしていきたいみなさんにも、スタッフが一緒に考えて次へ進むアイデアを生み出すお手伝いができます。

まちづくり、市民活動に関わる講座やイベントの開催をはじめ、運営や日頃の活動、取組みに対するさまざまな相談にもお応えします。

主役は市民のみなさんです。つながりやにぎわいがあり、情報が集う“とまり木”としてまちづくりスポット大津をご活用ください。

まずは、ハッシュタグ大津京／まちづくりスポット大津を訪れてみてください。新たな発見があるかもしれません。　［ 阿部 圭宏 ］

〒520-0021 大津市二本松１－１　ブランチ大津京内

ハッシュタグ大津京　TEL 077-511-9231

まちづくりスポット大津　TEL 077-511-9814

開局から今年2年目

地元の話題は「FMおおつ」(79.1Mhz)から

２０１８年４月１日、「FMおおつ」が開局しました。大津市域をエリアにした（市内でも電波の届かない地域もありますが）コミュニティFMで、災害時には緊急情報や地域密着の情報をお届けすることも大きな役割としています。

私は開局時から、毎週金曜日夕方（16 時～17 時 30 分）の番組「イブニングおおつ金曜日」のパーソナリティを務めています。「人と人をつなぐ金曜日」を謳い文句に、ゲストをお招きしておしゃべりをさせていただいています。これまでに 80 組、150 人ぐらいの方々にお越しいただいたと思います。

大津で活動したり、大津と縁のある方々です。これからも、地域で活動されている方々にお越しいただき、楽しいお話、元気のでるお話、為になるお話をお届けしたいと思います。

お時間がございましたら、ラジオのチャンネルを 79.1Mhz に合わせていただき、耳を傾けてくださればうれしいです。まだまだ不慣れですが、曲とおしゃべりの空間が広がることと思います。

【 FMおおつ パーソナリティの森川氏右側 】

インターネットで、スマホやパソコンでもお聴きいただくことができます。「FM プラプラ」を検索して開いていただき、画面のなかの「FM おおつ」をポチッとしてください。　よろしくお願いします。［ 森川 稔 ］

編集後記　新年号なので当初は６ページにと思っていましたが断念し４ページに。今号表紙は福山聖子さんにお願いして北国海道の町家の絵となりました。安楽さんの『大津百町我儘百景』によるまちあるきツアーも特集。福山さんの画集、安楽さんの本は大津百町館でも受託販売しています。　［ Ｋ．Ａ ］